

# 遭難を報道する新聞

**一名は絶望か**  
穂高遭難 三重大生ら三名 30.1.3

【鈴鹿発】北ア前穂高東壁目ざし 氏)の会員十三名のうち遭難を伝  
て去月二十二日出発した岩稜会  
(会長、鈴鹿市神戸河町、室敏也  
栄介君(三) 鈴鹿市飯野寺家町、  
同部一年若山五郎君(三) 愛知

県海部郡佐織町、中央大学経済学  
部石原国利君(三) 福岡県直方市  
殿町)の三名の消息については四  
日午後一時十五分同会顧問石岡繁  
雄氏 同市神戸小山 方への電話  
連絡によると東壁に雪穴を掘って  
吹雪を避けていた石原、沢田両君  
を無事奥又白谷のテントに収容し  
たが、登高中ザイルが切れて若山  
君は谷間へ転落、行方不明になっ  
ており絶望視されている。

1月3日付 中日新聞

中日 30.1.4

**一名は転落、絶望**  
北ア三重大生ら二名救助

【鈴鹿発】北ア前穂高東壁目ざし 氏)の会員十三名のうち遭難を伝  
て去月二十二日出発した岩稜会  
(会長、鈴鹿市神戸河町、室敏也  
栄介君(三) 鈴鹿市飯野寺家町、  
同部一年若山五郎君(三) 愛知

県海部郡佐織町、中央大学経済学  
部石原国利君(三) 福岡県直方市  
殿町)の三名の消息については四  
日午後一時十五分同会顧問石岡繁  
雄氏 同市神戸小山 方への電話  
連絡によると東壁に雪穴を掘って  
吹雪を避けていた石原、沢田両君  
を無事奥又白谷のテントに収容し  
たが、登高中ザイルが切れて若山  
君は谷間へ転落、行方不明になっ  
ており絶望視されている。

1月4日付 中日新聞

**三重大生  
が遭難か**  
1/4 奥穂高で 9-2

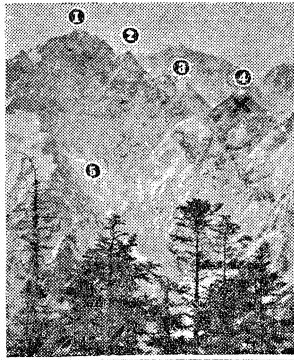
【津島発】  
愛知東海  
部郡佐織  
町見越、  
会社重役  
若山五郎君(三) 三

重大学三学部一年は、鈴鹿市岩  
稜会のアルピニスト四名とともに  
去る十二月二十二日北アルプス奥  
穂高登山に出かけたが、三日夜若  
稜会会長の鈴鹿市神戸、石岡繁雄  
氏(三) 若山五郎君(三)の長男から  
若山氏方へ「五郎遭難らしい。  
繁雄現地へ行く」との電報が届い  
た。石岡氏は今度の奥穂高行には  
都合で参加しなかったが、連絡で  
直ちに現地へ出かけた。

五郎君は津島高校時代から山好  
きで同高校山岳部のキャプテン  
をしていた。

若山氏の話「これまで相当経験も  
積んでおり、出発の時に三日  
夜か四日朝に帰るといつていた  
ので別に心配していなかった。  
岩稜会のメンバーはいつも強行  
軍で、アルプス方面も踏破して  
おり、今度も期間が長いとその  
連中と一緒にだったので、安心し  
ていた。繁雄が四日朝現地へ着  
くので、その連絡を待って出か  
けた。他の一行については何  
も聞いていません。

1月4日付 朝日新聞



① 長嶺山から見た前穂高  
② 奥又白の山頂  
③ 奥又白の山頂  
④ 奥又白の山頂  
⑤ 奥又白の山頂

# 一名転落、二名凍傷

## 三重大生らザイル切れ絶望

新雪の北ア前穂高で、またも遭難事件あり。名は行不明。他の三名が負傷した。三重岩会々員八名、奥又白の山頂を目指して、ザイルを引ついで、前穂高の山頂を目指して、三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。

### 『ナイロン製ザイル』

#### 再検討の必要あり

木村氏談、ザイルの転落事故のうち、大半はザイルが切れているが、ナイロン製ザイルが普及して、ザイル切れの事故が減少している。一昨年から大坂、東京方面の山岳関係者の間にナイロン製ザイルの必要がある。

また、前穂高で遭難

# 一名死亡二名救助

## 岩稜会の前穂高で遭難

岩稜会の三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。

【鈴鹿】三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。三重大生らザイル切れ絶望。

石原氏から上高地まで、石原氏から上高地まで、石原氏から上高地まで。

一月五日付 伊勢新聞

1月5日付 信濃毎日新聞

### 天候回復待ち続行

#### 三重からも捜索応援隊

天候回復待ち続行。天候回復待ち続行。天候回復待ち続行。

1月6日付 信濃毎日新聞

天候回復待ち続行。天候回復待ち続行。天候回復待ち続行。



